

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政 策 目 標 3 やさしい心で支え合い、健やかに暮らせるまちに
重 点 的 取 組 3 高齢者や障がいのある人など誰もが自分らしく地域で暮らせるよう支援する

担当課名	福祉保健部 地域包括支援センター
予 算	会計 23 介護保険特別会計（保健事業助 款 03 地域支援事業費
科 目	項 02 包括的支援事業・任意事業費
目 目	01 包括的支援事業費

事業名	地域ケアネットワーク推進事業	事業開始年度	平成 24 年度
	地域における医療・福祉・介護のネットワークの推進	根拠法令 条例 個別計画 等	地域支援事業実施要綱

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	高齢者	医療・福祉・介護が連携したネットワークを推進し、高齢者が住みなれた地域でできるだけ長く生活ができるよう支援する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
廿日市市五師士会	佐伯地区医師会 看護協会等	・廿日市市五師士会が定期的に実施する相談室開催を支援 ・地域における医療・福祉・介護のネットワークの推進

3 平成26年度 決算（活動実績・コスト情報・目標到達度）

実施した事業の内容（活動実績）

- ・廿日市市五師士会が定期的に開催する相談室の開催を支援
医師・歯科医師・薬剤師・看護師・社会福祉士等で構成する廿日市市五師士会が、高齢者や高齢者の支援者に対して、困りごとや専門的な相談を市民センター等で定期的に開催することに協力し、高齢者が安心して生活ができる地域づくりを推進する。
- ・地域における医療・福祉・介護のネットワークの推進
相談室の開催に併せて、地域包括支援センターが廿日市市五師士会の相談員や地域の関係者と地域ケア会議を開催し、関係機関の結びつきの強化や目に見える関係づくりを行うと同時に、地域の個々のケースについての問題解決を目指す。また、五師士会が開催する地域ケア検討委員会の委員として、地域包括支援センターの職員が会議に参加している。平成26年度は、廿日市市五師士会が開催した「地域包括ケアに関するシンポジウム」に、地域包括支援センターの職員がシンポジストとして参加した。
- ・事業費関連
【歳入】 国39.5% 県19.75% 市19.75% 1号保険料21%
【歳出】 地域ケアネットワーク推進事業補助金1,300,000円

廿日市市五師士会とは
廿日市市の保健・医療・福祉にかかわる専門職団体である医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、福祉士会、理学療法士会、介護支援専門員連絡協議会、栄養士会で構成した組織で、地域の皆様が安心して暮らせるまちづくりに貢献することを目的に平成17年度に設立された。

コスト情報（円）

項 目		平成 25 年度決算	平成26年度決算①	①のうちH25から繰越	H26からH27へ繰越
財源内訳	直接事業費 A	1,300,000	1,300,000		
	国庫支出金	514,000	513,000		
	県支出金	257,000	257,000		
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)	257,000	257,000		
	市（市税など）	272,000	273,000		
人件費（按分）B		0.10 人 848,600	0.11 人 943,140		
総事業費（A+B）		2,148,600	2,243,140		
単位 ト換算	①人口（4月1日現在）	117,680 人	117,182 人		
	①市民1人当たり	18	19		
	②高齢者				
	②高齢者1人当たり				

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H26実績値	H27目標値	備考
活動成果	相談室開催	件	20	20	20	20	
	相談支援延べ件数	件	108	150	144	170	
	在宅サービスを利用する人の増加	%	82	82.00	81.79	82.1	